

企業型確定拠出年金の Asline提携パートナー募集してます！

SBIベネフィット・システムズのアカウントマネージャー（AM）に就任いたしましたので一緒に企業型DCの推進をしていただけるパートナーの皆様の募集をしています。

対象者

保険業FPの方・社労士・税理士・BtoBの一般業種の方
企業型DCの導入をとおして従業員のマネーリテラシーを向上させ、会社を強くし、日本経済の発展に寄与することを使命としています。その為に多くのパートナー様からお力をお貸ししたいと考えています。

特典

- ☒ 紹介インセンティブあり
- ☒ 月1回の無料勉強会の参加
- ☒ 金融リテラシーUP
- ☒ 新規顧客開拓ツール



参加されたい方は直接ご連絡ください。

この漢字なんて読む？

「普く」

ヒント！
「世間に〇〇〇く知れ渡る」
「〇〇〇く人々に愛される」
という意味で使われます。

答えは左下にあるよ



監修した本が発売されています！

『退職金で 損する人得する人』

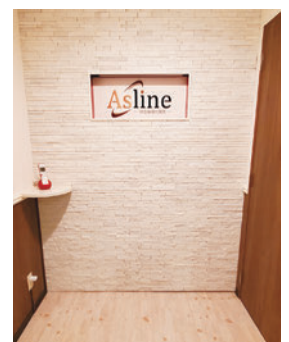
確定拠出年金診断協会の
著者：代表理事 **わくべ しょうご 分部 彰吾** 理事 **やまがみ しんじ 山上 真司**

企業担当者様向けの企業型確定拠出年金の書籍は今までにありましたが、実際に加入している加入者の立場での内容がまだなかったので商業出版での発売になります。



企業型DCの運用をされている方は、ぜひご一読ください♪

書店でもネットでも購入できますが、書店・ネット版には私の帯は付いてませんので現物が欲しい方は、ぜひ、弊社にお立ち寄りください。



地下鉄 新大阪駅 7番出口より6分 / 地下鉄 西中島南方駅北改札より4分

2025年8月発行

料金後納
郵便

VOL.19
10周年記念号
2025

お金やほけんにまつわる情報誌

With As



大切なお客様と名刺交換をさせて頂いたご縁のある方にお届けさせていただいています。

◎ベテランでも油断大敵!? ヒューマンエラーの分類と気づき
～「うっかり」を減らす第一歩は、自分の傾向を知ることから～

◎本の紹介:『DIE WITH ZERO (ゼロで死ぬ)』
～お金も時間もムダなく使って、人生をまるごと楽しむ考え方～

◎防災対策! 日常から備える「フェーズフリー」の考え方

◎企業型確定拠出年金のAsline提携パートナー募集してます!

◎この漢字なんて読む? 「普く」

◎監修した本が発売されています! 確定拠出年金診断協会の『退職金で損する人得する人』

Asline(アスライン)の社名の由来は、As「明日・私たち」line「線・道」という意味から私たちの関わるすべての皆さまの明日を守り不安や心配事のない明るい道を歩いていただきたいという思いで名づけました



10TH
ANNIVERSARY

Asline

リスクマネジメント&企業型確定拠出年金導入 株式会社 Asline
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目11-9新大阪中里ビル7F
TEL 06-6195-8040 FAX 06-6195-8041 HP <https://asline.co.jp>

法人のお客様は従業員さまに回覧していただけると嬉しいです♥

With As Vol.19

お金やほけんにまつわる情報をお届けします



田頭 淳子 (たがしら じゅんこ)
代表取締役

保有資格

CFP®(日本FP協会会員) 1級FP技能士
DCプランナー2級 確定拠出年金診断士®
損害保険トータルプランナー 証券外務員1種



CFP®, CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®, およびサードファイド ファイナンシャル プランナー® は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

【ご挨拶】設立10周年を迎えて

平素より格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

株式会社Aslineは、**本年8月をもちまして、設立10周年という節目の年**を迎えることができました。

この10年という時を重ねてこられたのは、ご契約者さまをはじめ、保険会社各社の皆さま、取引業者の皆さま、そして全国のパートナーの皆さまのご支援とご協力、そして共に歩んできた社員一人ひとりの尽力のおかげだと、心より感謝しております。

私たちの歩みは、2010年に私がAIU損害保険株式会社のIS制度に入社し、保険の現場の厳しさと使命感を学んだところから始まりました。その後、2015年に株式会社Aslineを設立し、損害保険のプロ代理店としての道を本格的にスタート。以降、ニーズをもとに保険会社の乗り合いを増やし法人・個人問わず保険サービスを拡充しながら、2019年には選択制企業型確定拠出年金の導入支援コンサルティングにも取り組み始めました。2022年には資格取得に目覚めてCFP®認定、FP1級および損害保険トータルプランナー、証券外務員の資格を取得し業務に関わる必要資格をコンプリートいたしましてお客様へ万全の体制でご提案ができるように勤めてまいりました。2025年にはSBIベネフィット・システムズ株式会社の近畿で5社のアカウントマネージャーに就任し提携パートナーの開拓と育成に力を注ぐなど、より広い視点で社会に貢献できる体制を整えてまいりました。

Aslineは「**WellBeing(持続的な幸せ)経営を支援する**」ことを理念に掲げています。株式会社Aslineと関わったすべてのお客様が、安心して事業を展開できるように。そして、万一のことがあっても、早く平穏な明日への道を歩み続けていけるように。私たちは、情熱と責任をもってその想いを守り続けています。

これからの10年は、これまでの経験と信頼を土台に、企業型確定拠出年金の普及と支援に、より一層力を注ぎ、皆さまの会社の「**企業防衛**」と「**資産形成**」に貢献できる**企業**であり続けたいと願っております。

今後とも、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



ベテランでも油断大敵！？ヒューマンエラーの分類と気づき

～「うっかり」を減らす第一歩は、自分の傾向を知ることから～

私自身も正直なところ…ヒューマンエラー(うっかりミス)はチョイチョイあります。

それによってご迷惑をおかけすることもあり、反省の日々です。もちろん、加齢による視力や記憶力、判断力の衰えは避けがたいものです。けれども、それだけが原因ではないようです。

ヒューマンエラーは12種類に分類できる！最近、ヒューマンエラーについて分類された資料を読む機会がありました。「**人がミスをする原因**」は、大きく次の**12タイプに分けられる**そうです。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1) 不注意(見落とし確認忘れ) | (7) 近道省略行動 |
| (2) 錯覚(見間違え思い込み) | (8) 連絡コミュニケーション不足 |
| (3) 集中力意識の低下 | (9) 集団欠陥(責任の所在不明) |
| (4) 場面行動本能(直感的感情的) | (10) パニック |
| (5) 知識不足不慣れ | (11) 疲労 |
| (6) 慣れによる手抜き危険軽視 | (12) 高齢者の心身機能低下 |

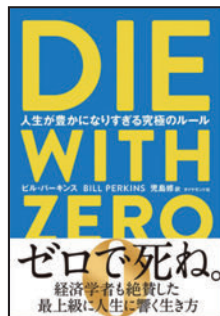


自分の「傾向」に気づくと、ミスは防げるこのリストを見て、私は「2. 錯覚(見間違え・思い込み)」と「4. 場面行動本能(直感的感情的)」に心当たりがあるな…と感じました。長年の経験からの思い込みで動いてしまったり、他の状況に意識が集中しすぎて、他の重要なことを見落とししたりと、自分の行動を振り返るきっかけになっています。

何か一つでも、「あ、これは自分にも当てはまりそうだな」と思う分類があれば、それだけでもミスを減らすヒントになります。

誰もがミスをします。完璧な人間などいません。だからこそ、自分のエラー傾向を認識することが、成長や信頼につながっていくのだと感じています。皆さまも、ぜひご自身のヒューマンエラーの傾向を知る参考になさってください。

本の紹介:『DIE WITH ZERO(ゼロで死ね)』 ～お金も時間もムダなく使って、人生をまるごと楽しむ考え方～



普段から老後の資産形成をしておかないと大変なことになりますよ!と提案している私が推奨するのはちょっと矛盾しているかもしれませんが(笑)この本にめちゃくちゃ感銘を受けました。私は「もっとお金をためなきゃ」「老後が不安だから運用を…」「旅行より遊びより仕事!業務拡大!売上倍増!」今しかバリバリ働けないでしょ!いつも思っていました。でもこの本『DIE WITH ZERO(ゼロで死ね)』では、まったく逆のことが書かれています。それは、「ためすぎずに、今このときを楽しむために使おう」という考え方です。

なにが書いてある本なの？

この本は、アメリカのビル・パーキンスさんが書いたもの。彼はお金持ちの投資家ですが、お金についてこんなことを言っています。「**人生は、思い出(経験)こそが一番の宝物。お金はそのための道具なんだよ。**」

『DIE WITH ZERO』まとめ

1. 最大の投資は「経験」

お金は人生の貴重な「エネルギー」であり、それを経験に費やすことで「メモリーディビデンド」(記憶による配当)が得られます。物より経験。食事や旅行、大切な人との時間などは、のちに心に豊かな果実を残します。

2. タイムバケット戦略

人生を「20代」「30代」のような期間(time-buckets)に分け、その時期に【最適な経験】を得るプランを立てることが重要です。お金を使うタイミングが大事!たとえば…20代のうちに友達とバックパックで海外を旅する30代で子どもと一緒に海へ行く70代では、静かな温泉旅行を楽しむ…といったように、年齢によってできる経験が違うんです。お金があっても、体が元気じゃないとできないことも多い。だから、「若いときにしかできないこと」に、ためらわずお金と時間を使おうという考えです。

3. “Die With Zero”の本質

死ぬまでに「使えるお金」を使い切る、つまり人生の最後に全く残さず、経験に投資し切ることを推奨しています。これは浪費を勧めるわけではなく、「今あるエネルギーで、今経験を積もう」というメッセージです。

4. 若い間に親や子にもおすそ分け

遺産より、「生きているうちに子どもや家族に資金を渡す」ほうが、感謝や影響を直接感じられると説きます。家族にも“今”わけよう「親がたくさん遺産を残してくれるより、今のうちにちょっと援助してくれた方が嬉しい」そんな声、よく聞きますよね。自分が元気なうちに、大切な人と一緒に時間をすごしたり、ちょっとしたプレゼントをしたり。そうすることで、「ありがとう」や「楽しかったね」が直接伝えられるんです。

最後に: これからのをどう過ごしたい?この本を読んで考えました。「お金をためる」だけでなく、どうやって使うか、いつ使うか、誰と過ごすかを考えることも、すごく大事なんだなって。みなさんも、何をしたらワクワクする?どんな思い出を作りたい?誰とすごしたい?そんなことを考えるきっかけにしてみてください。

— 防災対策!日常から備える「フェーズフリー」の考え方 —

みなさんは「フェーズフリー」という考え方をご存じでしょうか? これは、災害時と平常時を区別せず、「日常生活の中で使えるものを、いざという時にも活用する」という防災の新しい発想で日常に自然と防災を組み込むことができます。たとえば、こんな商品が開発されています。

目盛りつき紙コップ



側面に「ミリリットル」や「合(米の量)」が記され、計量カップ代わりに。非常時でも使える便利アイテム。

丈夫なスリッパ



ガラスの破片を踏んでも足を守る特殊素材。普段使いしながら緊急時にも安心。

撥水生地のトートバッグ



普段はエコバッグ、災害時には最大6リットルの水を運べるバケツに変身!

これらは「備蓄品を保管するスペースがない」「予算が限られている」といった声を受け、日常生活と防災の両立を目指して生まれたものです。